

# 公的職業訓練の愛称・キャッチフレーズの選定について

## 公的職業訓練とは

公共職業訓練と求職者支援訓練の総称。

求職者が就職に必要な職業スキルや知識を習得するために、無料で受けられる訓練（離職者訓）。  
その他、在職者向け訓練、学卒者向けの訓練のほか、障害をお持ちの方を対象とした訓練も実施。

## 職業訓練のイメージ

訓練受講によって  
高い就職率を実現し、  
一億総活躍を下支え！

### 年間約30万人が訓練を受講

働こうとする方、働く方全てが対象

日本の労働力人口は**6600万人**！

- ・失業された方
- ・働きたいのに、キャリアが少ない方  
(シングルマザー、ニート、ひきこもりなど)
- ・障害者
- ・学卒者
- ・スキルアップを目指す在職技術者

### 多種多様な訓練分野を網羅

〔離職者訓練における主な分野別の就職数〕

- ・建設・製造系 (13,475人)
- ・IT系 (15,718人)
- ・事務系 (29,757人)
- ・サービス系 (10,967人)
- ・介護系 (19,582人) (括弧内は平成26年度の就職者数)
- ・デザイン (1,422人)
- ・理容・美容系 (1,206人)

※この他、学卒者(7,950人)、障害者(3,387人)、  
在職者受講者102,887人

時代のニーズに即したコースも  
創設し、国民の働くニーズに対応

### 訓練コース(一部)

- ・金属加工、電気工事、住宅リフォーム
  - ・OAシステム開発、Web設計
  - ・ビジネス経理、医療事務
  - ・調理、ホテル・レストランサービス
  - ・介護サービス、福祉用具
  - ・パソコングラフィック、DTP
  - ・ファッションリテール、和装技術
- ※ 第一種電気工事士、宅地建物取引主任者、  
介護職員初任者研修等の資格を取得可能！

## 課題

### ○国民一般における認知度

→厚生労働行政モニターで**求職者支援制度の  
名称及び内容を知らない者が7割弱**

### ○「訓練」に対する世間のイメージ

→「厳しい」「辛い」など

国民の大事な「セ・ファイネット」であるにも関わらず、  
名称も内容も認知度は低い。

## 今回の取組み

「愛称」「キャッチフレーズ」も活用し、公的  
職業訓練のイメージを一新。

広くPRも行うことで認知度を高め、利用を促進  
し「職業能力向上」を図る。

「ハローワーク」も公募で決定し、  
現在国民に広く定着。